

熊本県感染症情報 (第6週)

県内154定点医療機関からの報告数 2/7～2/13

No.	疾患名	今週	前週
1	インフルエンザ	0	0
2	RSウイルス感染症	73	92
3	咽頭結膜熱	9	4
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	1
5	感染性胃腸炎	254	319
6	水痘	13	2
7	手足口病	10	7
8	伝染性紅斑(りんご病)	1	0
9	突発性発しん	17	20

No.	疾患名	今週	前週
10	ヘルパンギーナ	5	4
11	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0	0
12	急性出血性結膜炎	0	0
13	流行性角結膜炎(はやり目)	1	1
14	細菌性髄膜炎	0	0
15	無菌性髄膜炎	0	0
16	マイコプラズマ肺炎	0	0
17	クラミジア肺炎	0	0
18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0

各疾患別定点医療機関数			
No.1	: 80	No.12、13	: 9
No.2～11	: 50	No.14～18	: 15

【報告数の多い疾患】

地区別: 定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

感染性胃腸炎

報告数: 254件 (前週: 319件) 地区別: 菊池、有明、八代 年齢別: 2歳 39件 (15.4%)

RSウイルス感染症

報告数: 73件 (前週: 92件) 地区別: 水俣、菊池、八代 年齢別: 1歳 30件 (41.1%)

突発性発しん

報告数: 17件 (前週: 20件) 地区別: 熊本、有明、八代 年齢別: 1歳 9件 (52.9%)

【レジオネラ症に注意しましょう!!】

今週(第6週)はレジオネラ症の報告が1件(今年累計: 4件)ありました(去年同期累計: 0件)。全国では7月や9月に多いですが、近年の発生数は増加傾向にありますので、今後も注意が必要です。症状などからレジオネラ症かもしれないと思った場合には、早めに医療機関を受診し、治療につなげましょう。

【レジオネラ症について】(参考: 厚生労働省及び国立感染症研究所ホームページ)

・レジオネラ症とは?

自然界(河川、湖水、温泉や土壌など)に生息しているレジオネラ属菌による細菌感染症です。ヒトからヒトへ感染することはありません。

・症状は?

感染してから症状が出るまでの期間は、2～10日です。主な病型としては、重症のレジオネラ肺炎と軽症のポンティアック熱が知られています。

レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳や38以上の高熱、寒気、胸痛、呼吸困難が見られるようになります。まれですが、心筋炎などの肺以外の症状が起こることもあります。また、意識レベルの低下、幻覚、手足が震えるなどの中枢神経系の症状や、下痢がみられるのもレジオネラ肺炎の特徴とされています。軽症例もあるものの、適切な治療がなされなかった場合には急速に症状が進行することがあり、命にかかわることもあります。

これに対し、ポンティアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、またそれらは一過性のもので、自然に治癒します。

・治療は?

マクロライド系、ニューキノロン系やリファンピシン等の抗菌薬で治療することができます。早期診断、早期治療が重要です。

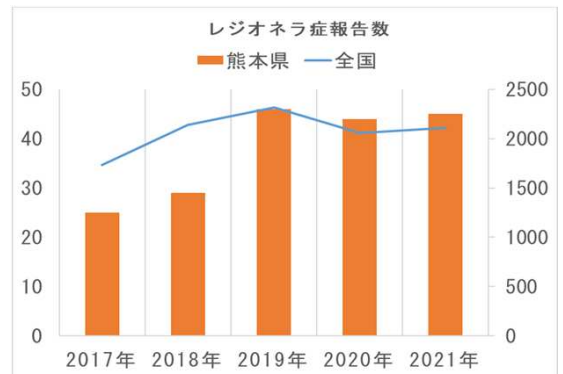
・リスクが高い方は?

高齢者や新生児は肺炎を起こす危険性が通常より高いので、注意が必要です。また、大酒家、喫煙者、透析患者、移植患者や免疫機能が低下している人は、レジオネラ肺炎のリスクが高いとされています。

・予防方法とは?

レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい霧やしぶき)の吸入、温泉浴槽内や河川で溺れた際に汚染された水を吸引・誤嚥、汚染された腐葉土の粉じんを吸い込んだことによる感染事例が報告されていますので、

- ・加湿器の水は毎日交換し、容器を洗浄しましょう。
- ・循環式浴槽は定期的に洗浄を行いましょう。
- ・土いじりや農作業、高圧洗浄などの作業を行う際は、マスクを着用するなどの対策を取りましよう。



熊本県感染症情報 (第6週)

報告期間	第51週	第52週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第3週	第4週	第5週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	12/20~ 12/26	12/27~ 1/2	1/3~ 1/9	1/10~ 1/16	1/17~ 1/23	1/24~ 1/30	1/31~ 2/6	2/7~ 2/13	1/17~ 1/23	1/24~ 1/30	1/31~ 2/6
インフルエンザ	0	0	1	1	0	0	0	0	69	55	41
	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
RSウイルス感染症	105	79	86	99	153	152	92	73	1,566	1,523	1,050
	2.10	1.58	1.72	1.98	3.06	3.04	1.84	1.46	0.50	0.49	0.34
咽頭結膜熱	15	16	17	6	6	6	4	9	626	451	526
	0.30	0.32	0.34	0.12	0.12	0.12	0.08	0.18	0.20	0.14	0.17
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	15	6	9	10	7	14	1	2	1,811	1,508	1,235
	0.30	0.12	0.18	0.20	0.14	0.28	0.02	0.04	0.58	0.48	0.40
感染性胃腸炎	626	414	381	612	597	397	319	254	25,181	22,294	17,903
	12.52	8.28	7.62	12.24	11.94	7.94	6.38	5.08	8.04	7.1	5.74
水痘	4	7	10	7	7	6	2	13	292	252	189
	0.08	0.14	0.20	0.14	0.14	0.12	0.04	0.26	0.09	0.08	0.06
手足口病	79	44	32	33	31	12	7	10	1,005	819	606
	1.58	0.88	0.64	0.66	0.62	0.24	0.14	0.20	0.32	0.26	0.19
伝染性紅斑	1	0	0	0	0	2	0	1	48	42	42
	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00	0.02	0.02	0.01	0.01
突発性発しん	25	19	20	26	27	23	20	17	932	798	753
	0.50	0.38	0.40	0.52	0.54	0.46	0.40	0.34	0.30	0.25	0.24
ヘルパンギーナ	16	4	9	17	16	6	4	5	236	149	90
	0.32	0.08	0.18	0.34	0.32	0.12	0.08	0.10	0.08	0.05	0.03
流行性耳下腺炎	0	1	0	0	0	0	0	0	76	75	84
	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.03
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	7
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
流行性角結膜炎	4	4	4	13	1	4	1	1	114	120	112
	0.44	0.44	0.44	1.44	0.11	0.44	0.11	0.11	0.17	0.17	0.16
細菌性髄膜炎	0	0	1	0	0	0	0	0	6	6	8
	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4	5
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	0.01
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	0	0	0	0	0	4	6	3
	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	-
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	-
感染性胃腸炎(ノロウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	4
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.01	0.01	0.01

上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

【1類～5類感染症(全数把握)の報告】

4類感染症

レジオネラ症: 1件(今年4件)

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】

(全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報は1週間までの内容になります。)

RSウイルス感染症
ヘルパンギーナ

【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

感染性胃腸炎 : 菊池

【 病原体検査情報 】

県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。

季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) 2021/22シーズン(R3.9/6~)の累計

	A型			B型
	季節性 H1pdm(AH1pdm09)	H1(ソ連型)	H3(香港型)	
(今シーズン累計)	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	0件	0件	0件	0件

呼吸器疾患病原体検出状況 第1週(R4.1/3~)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
10件 (41件)	1件 (4件)	0件 (7件)	0件 (0件)	0件 (9件)	0件 (0件)
アデノウイルス	その他				
0件 (1件)	1845件 (1530件)				

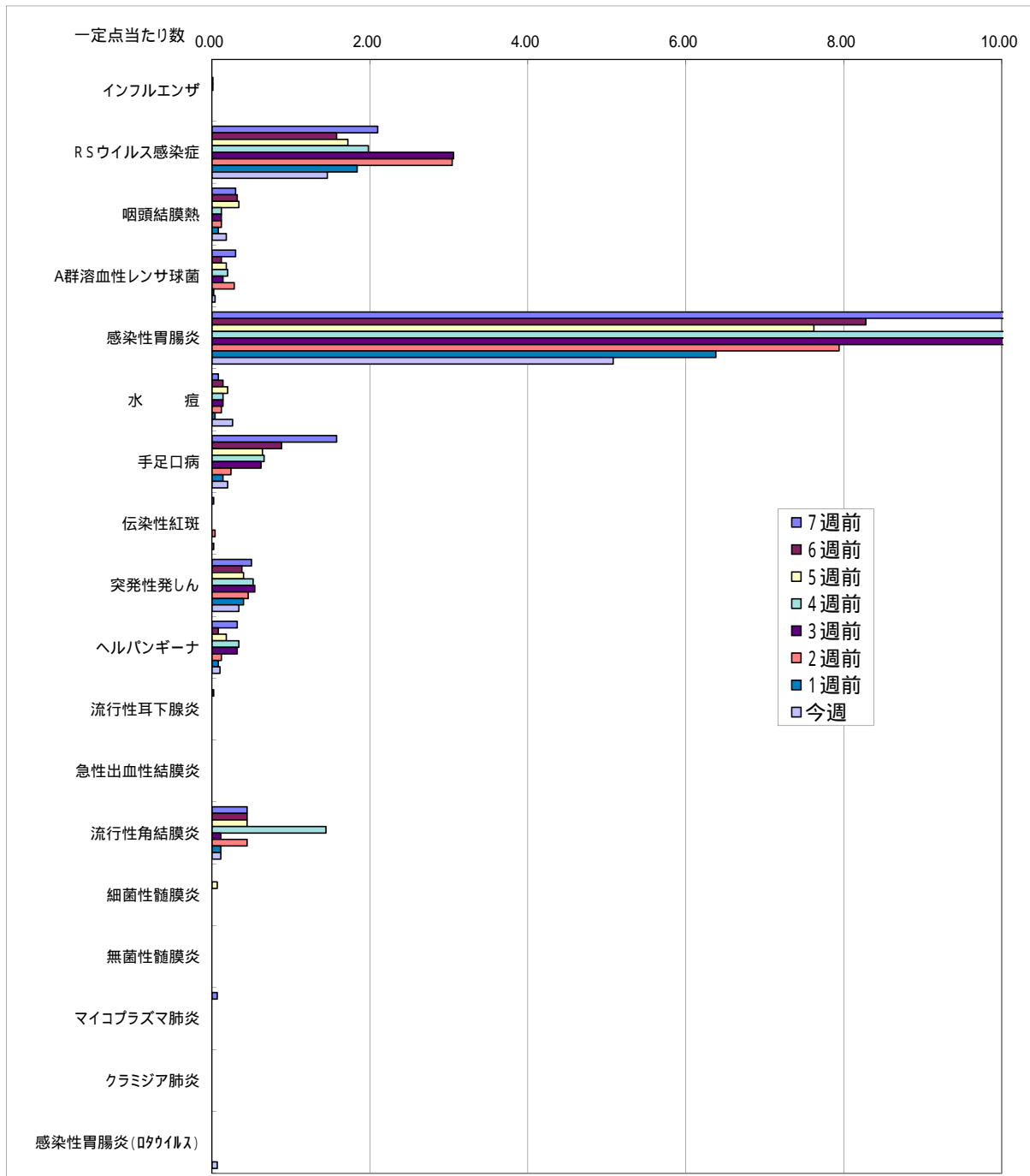
(カッコ内は昨シーズン累計)

感染性胃腸炎病原体検出状況 第1週(R4.1/3~)からの累計

ノロウイルス	サボウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
0件 (3件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (1件)	0件 (4件)

(カッコ内は昨シーズン累計)

一定点当たり週別発生状況の推移



一定点当たりの数値が10.00を超えた場合の推移は前の表で確認してください。

